

「次期龍ヶ崎市教育プラン策定のための保護者アンケート」結果（概要）をお知らせします

☎ 教育総務課 ☎ 内線 291

龍ヶ崎市教育委員会では、「次期龍ヶ崎市教育プラン」の策定作業を行っています。策定にあたり、市立小中学校に在学する児童生徒の保護者の皆さんにアンケート調査を実施しました。

結果のうち、主なものをお知らせします。

龍ヶ崎市教育プラン

「龍ヶ崎市教育プラン」は、本市教育分野の基本計画として位置付けられています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」（教育大綱）と、教育基本法に基づく「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」（教育振興基本計画）の2つで構成されています。

計画期間

現行の「龍ヶ崎市教育プラン」の計画期間は、平成29年度～令和3年度の5年間です。しかし、市の次期「最上位計画」との整合を図るため、現行の計画期間を1年間延長しました。国の「第4期教育振興基本計画」（令和5年度開始予定）の内容を参考にし、策定作業を進めていきます。

次期「龍ヶ崎市教育プラン」は、次期「最上位計画」の計画期間に合わせ、令和5年4月～13年3月の8年間とし、中間年度に見直しを行います。

| 年度 | 平成30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 |
|------|-----------------|------|----|------------|-----------------------|-----------------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 国 | 第3期教育振興基本計画 | | | | 第4期教育振興基本計画（予定） | | | | | | | | |
| 茨城県 | 茨城県総合計画 | | | 第2期茨城県総合計画 | | | | | | | | | |
| | いばらき教育プラン | | | 延長 | いばらき教育プラン | | | | | | | | |
| 龍ヶ崎市 | 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン | | | 延長 | 次期最上位計画【8年】（中間年度に見直し） | | | | | | | | |
| | 龍ヶ崎市教育プラン | | | | 延長 | 次期龍ヶ崎市教育プラン（中間年度に見直し） | | | | | | | |

アンケート調査の概要

- 調査期間：令和3年11月5日～19日
- 調査対象：市立小学校（偶数学年）・市立中学校（全学年）の児童生徒の保護者 3,642人
- 調査方法：学校と児童生徒を經由しアンケート用紙を配布・回収
- 回答数：回答数 3,196件 / 有効回答数 3,155件 / 有効回答率 86.6%



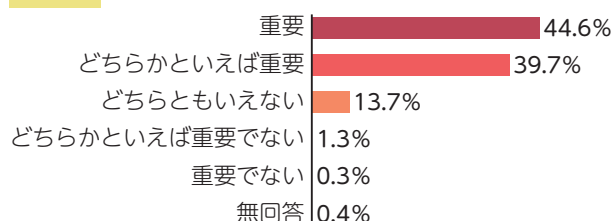
調査結果(抜粋)

市の教育施策について

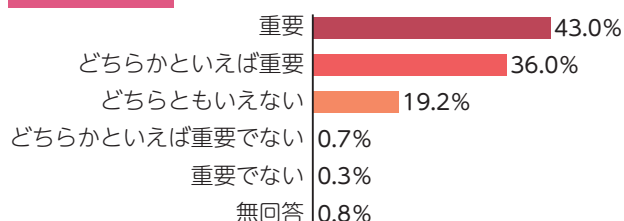
図 龍ヶ崎市が取り組んでいる教育施策について、それぞれの重要度をお伺いします。

現行プランのうち、主に義務教育分野に関する31の施策の重要度を質問しました。特に保護者の関心が高いと思われる施策は以下の10項目です。

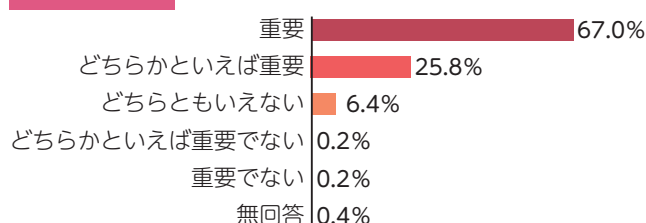
少人数教育 子どもの習熟度に応じたきめ細やかな学習のための少人数指導の充実



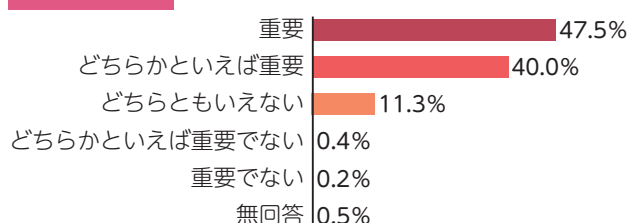
豊かな心が育まれること 特別支援教育の充実



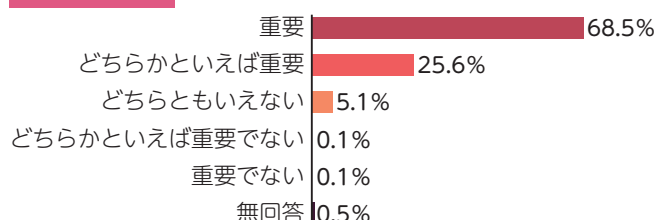
豊かな心が育まれること いじめや不登校の防止・解消を図る取り組み



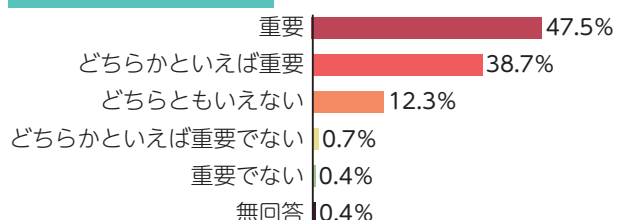
豊かな心が育まれること 規範意識や自他ともに尊重する心を育む道德教育の推進



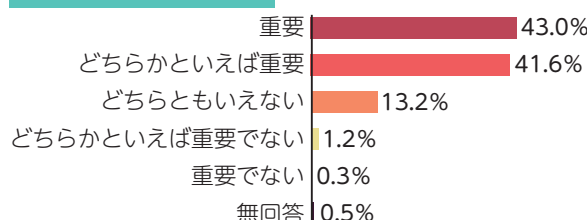
豊かな心が育まれること 命の大切さや他者への思いやりの精神を培う人権教育の推進



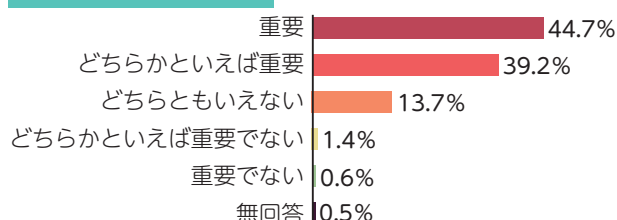
現代社会に対応できる能力を身に付けること 外国語教育の充実や国際理解教育の推進



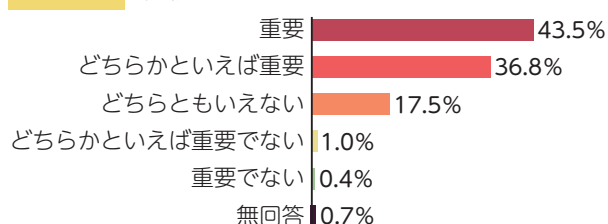
現代社会に対応できる能力を身に付けること 職業観を身に付ける社会見学やキャリア教育



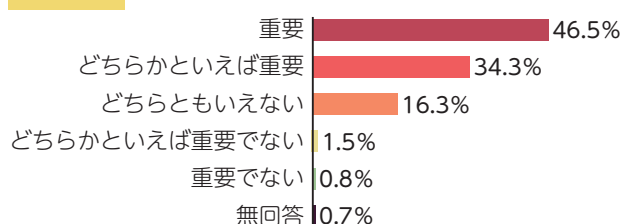
現代社会に対応できる能力を身に付けること ICT活用教育の推進



教育費の負担軽減 龍ヶ崎市で独自に実施している高校生向け奨学金の拡充



教育費の負担軽減 各種負担金の軽減(給食費・英検受験料)



学校教育や学校との関わりについて

問 お子さんは、学校の授業をどのくらい分かっていると思いますか。(1つ)

| | 合計 | ほとんど全部 | 7~8割くらい | 半分くらい | 3~4割くらい | ほとんど分かっていない | 無回答 |
|-------|--------|--------|---------|-------|---------|-------------|------|
| 全体 | 3,155人 | 16.8% | 44.5% | 24.8% | 8.9% | 4.4% | 0.6% |
| 男性 | 1,574人 | 15.4% | 43.1% | 25.4% | 10.0% | 5.7% | 0.4% |
| 女性 | 1,565人 | 18.1% | 46.1% | 24.2% | 7.9% | 3.3% | 0.4% |
| 小学2年生 | 490人 | 21.2% | 54.3% | 18.2% | 4.9% | 0.8% | 0.6% |
| 小学4年生 | 532人 | 16.9% | 51.9% | 21.8% | 6.2% | 3.0% | 0.2% |
| 小学6年生 | 540人 | 26.7% | 49.1% | 17.6% | 5.2% | 1.3% | 0.2% |
| 中学1年生 | 484人 | 10.7% | 39.9% | 31.8% | 11.2% | 6.0% | 0.4% |
| 中学2年生 | 550人 | 12.2% | 37.5% | 30.0% | 12.2% | 7.8% | 0.4% |
| 中学3年生 | 536人 | 13.2% | 35.6% | 29.7% | 13.8% | 7.5% | 0.2% |

※全体の合計人数は、男女・学年の未回答分も含みます

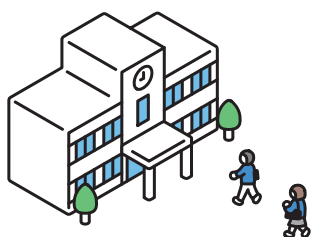
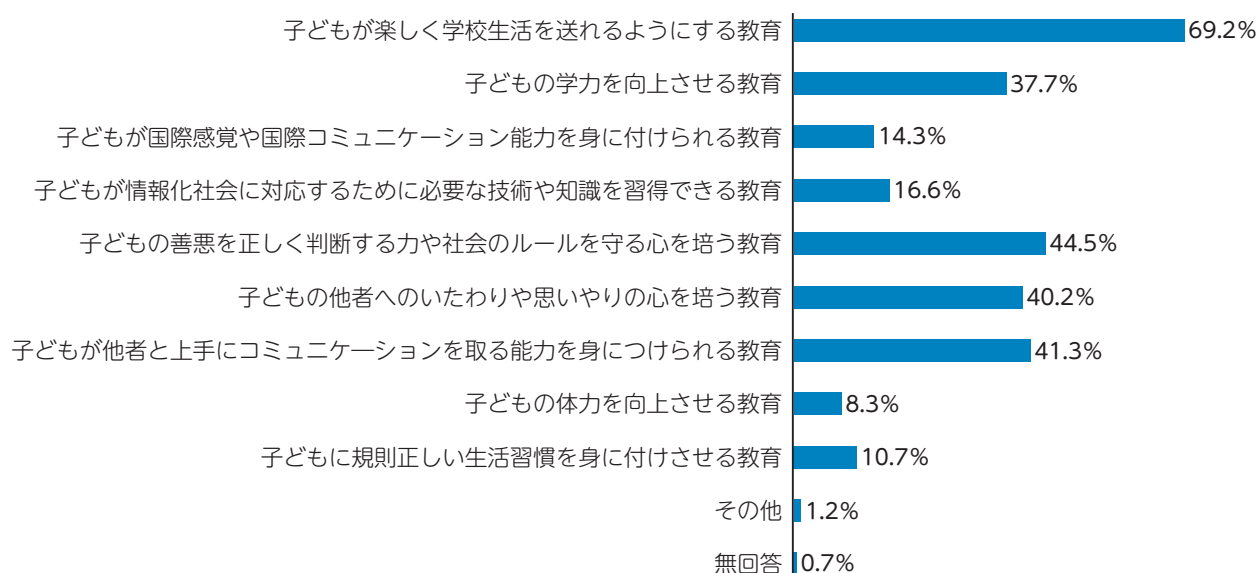
性別や学年で分けても、「7~8割くらい学校の授業を分かっていると思う」と回答した保護者が最多です。しかし、「ほとんど全部」「7~8割くらい」と答えた割合が、中学生になると減少しています。中学校進学にともなう学校生活や学習環境の変化が影響しているのかもしれない。

小学校から中学校へのスムーズな進級と、義務教育9年間を見通した系統的な学び(小中一貫教育)を推進していく必要があると考えられます。



学校教育や学校との関わりについて

問 あなたは、お子さんが通われている学校での教育に、どのようなことを望みますか。(3つまで選択)

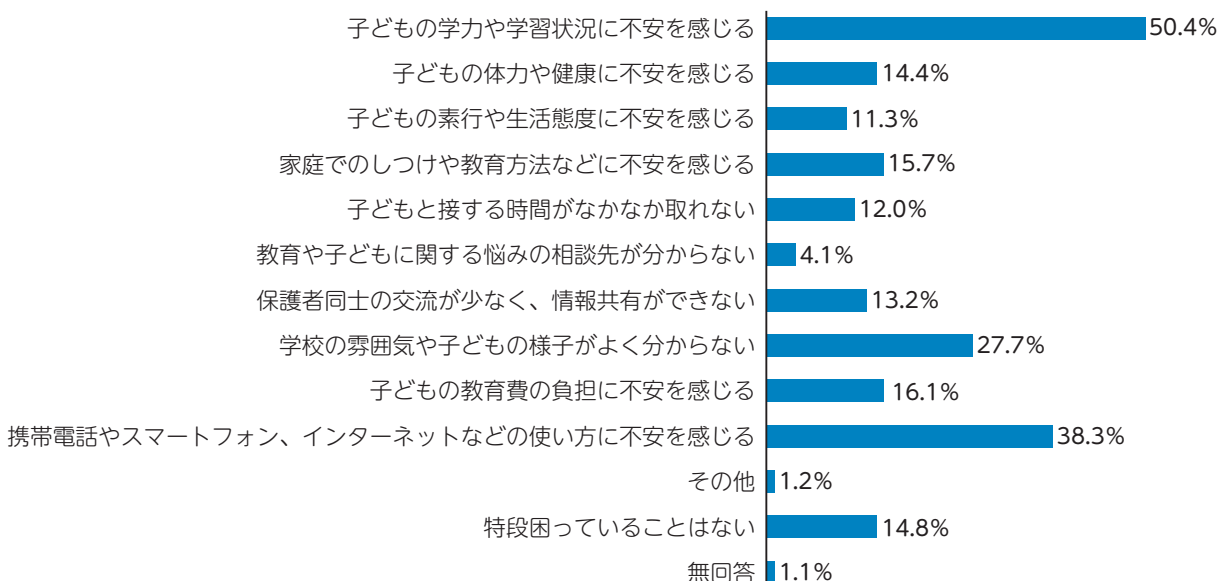


「子どもが楽しく学校生活を送れるようにする教育」の割合が最も高く、保護者の強い思いが見てとれます。

「子どもの善悪を正しく判断する力や社会のルールを守る心を培う教育」「子どもが他者と上手にコミュニケーションをとる能力を身につけられる教育」「子どもの他者へのいたわりや思いやりの心を培う教育」の割合も比較的高く、社会や他者との関わりが重要視されていると考えられます。

家庭での教育について

問 家庭での教育についてお困りのことはありますか。(あてはまるもの全て選択)

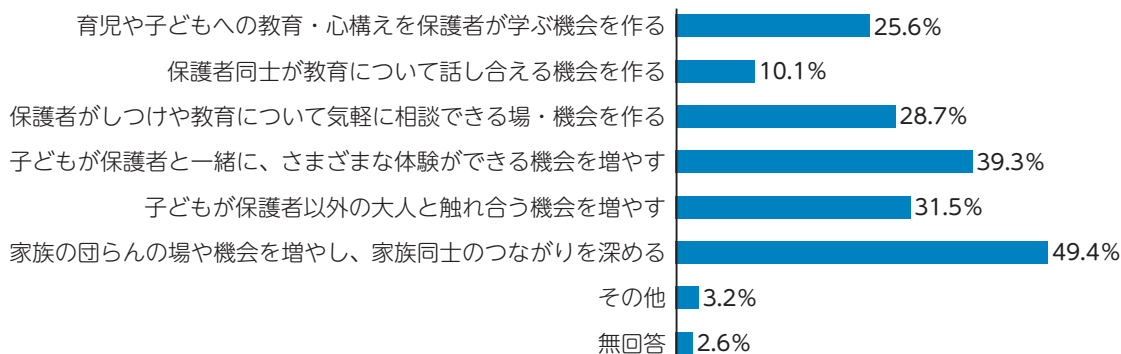


「子どもの学力や学習状況に不安を感じる」が最も高く、学力の向上や学習習慣の定着に取り組む必要があります。

続いて「携帯電話やスマートフォン、インターネットなどの使い方に不安を感じる」があげられています。ICT 機器の整備・活用を推進するにあたり、情報セキュリティや情報モラルに関する教育にも、力を入れる必要があります。



問 あなたは、家庭での教育力を高めるためにどのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで選択)



「家族の団らんの場や機会を増やし、家族同士のつながりを深める」が最も高く、続いて「子どもが保護者と一緒に、さまざまな体験ができる機会を増やす」「子どもが保護者以外の大人と触れ合う機会を増やす」と続きます。

家族間のつながりが重要であることはもとより、さまざまな体験活動や他者との交流が求められていることが注目されます。

今後について

アンケートにご協力いただいた保護者の皆さんに改めてお礼申し上げます。

今回のアンケートは調査対象者の性質上、義務教育・家庭教育に関する質問が主でした。教育プランはそれらに限らず、生涯学習や文化芸術の振興といったものも含まれます。今後、関係団体へのヒアリング・市民懇談会・パブリックコメントを通じて多様な意見を取り入れていきます。教育現場の声を十分に反映させ、市民の皆さんの教育環境をより良いものにするための計画を策定していきます。

